

●令和11年度稼働を目指す広域ごみ処理施設整備に向けて

ごみ処理施設を知ろう!



盛岡広域8市町(盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町)は、令和11年度からの「ごみ処理広域化」を目指し、協議をしています。この「ごみ処理広域化」は、効率的で環境負荷の低減を図るごみ処理を目指す取り組みです。現在8市町では、圏域内の6つのごみ処理施設(焼却施設)を1施設に集約することとし、整備に向けて準備を進めています。

【問】ごみ処理広域化推進室 ☎613-8146

ごみ処理が支える私たちの暮らし

良好な環境を保つごみ処理

私たちが生活する中で、ごみはどうしても出てしまいます。「発生の抑制(リデュース)」「再使用(リユース)」「再生利用(リサイクル)」という3Rに取り組んでも残ってしまう「ごみ」は、適正に処理する必要があります。

ごみ処理のルールが確立していなかった明治時代には、ごみが道ばたや空き地に積み上げられて不衛生な状態にあり、伝染病を媒介するネズミやハエ、蚊など害虫の発生・繁殖場所となるなど、生活環境を悪化させる原因となっていました。

その後、法整備が進み、ごみ処理を市町村の責務とすることや、ごみをなるべく焼却することが定められるなど、街を清潔に保つ公衆衛生の向上が重視されました。この考え方は、現在の廃棄物処理法に基づくご

み処理にも受け継がれています。

高度経済成長期(昭和30~40年代)には、大気汚染などの公害が社会問題となり、国は、人々の健康と生活環境を守るため、大気や水質に関する基準を定めました。

このような歴史的背景を経て、現在のごみ焼却施設では、これらの基準を守るため、焼却に伴って発生する排ガス中の有害物質を取り除く設備を備え、良好な環境を保つための対策がとられています。

将来にわたってごみ処理を持続するために

盛岡広域8市町の6つのごみ焼却施設では、経年劣化により維持補修費が年々増加しており、また、圏域内の人口は約46万7000人(令和元年10月時点※1)で

すが、令和11年には42万9000人、令和21年には38万8000人に減少※2することが見込まれています。このような状況の中、将来にわたって適切にごみ処理を持続していくためには、ごみの減量や資源化と併せて、効率的なごみ処理を目指す取り組みが不可欠です。これからは施設を集約化し、近隣の自治体が共同でごみを処理するなど、「ごみ処理の広域化」を進めていく必要があります。

※1 岩手県「毎月推計人口」より
 ※2 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口から試算

全国でも施設の集約化が進んでいます。

●ごみ焼却施設の数



環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等について」より

国の基準よりクリーンに！ もりおかのごみ処理施設

盛岡市のごみ処理施設はどうなっているの？

平成10年から稼働している盛岡市クリーンセンターは、1日405トンの処理能力を持つごみ焼却施設(ストーカ炉)です。

※市クリーンセンターでは、盛岡地域の燃やせるごみを処理しています
 ※玉山・都南地域のごみは、それぞれ別の施設で他の自治体と共同処理しています

※ストーカ炉では、焼却炉の床から噴き出す高温の空気でごみを乾燥させることで、ごみは、燃料を使わなくても自然に発火して燃えています

測定データのお知らせ

市クリーンセンターでは、施設周辺の環境モニタリング調査をしています。また、地域住民の代表などで構成する「盛岡市クリーンセンター公害防止対策協議会」や「盛岡市クリーンセンター公害監視委員会」で定期的に監視結果などを報告しています。

地域の皆さんと協議し、締結した「公害防止協定」に基づき、国が定める排出基準よりも排出濃度を低く設定した、より厳しい基準値を設け、測定データを市ホームページなどで公開しています。令和元年度の測定結果は右表のとおりです。

●煙突出口の排ガス濃度測定結果(令和元年度環境モニタリング結果)

測定項目	排出基準(国の基準)	クリーンセンター		
		協定値(自主基準)	測定値	
ばいじん(g/Nm ³)	0.08	0.01	0.000	1~3号炉の 年平均値
硫黄酸化物(ppm)	1592	10	0.4	
窒素酸化物(ppm)	250	100	41.8	
塩化水素(ppm)	430	10	3.6	1~3号炉の 最大値
ダイオキシン類(ng-TEQ/Nm ³)	1	0.1	0.0018	

ppm(ピーピーエム)：成分比や濃度を表す単位で100万分のいくつに当たるかを示す
 ng(ナノグラム)：10億分の1グラムのこと
 TEQ：毒性等量(ダイオキシン類の中で最も毒性の強い物質に換算した値)

施設紹介 動画



盛岡市クリーンセンターでのごみ焼却処理の流れ

ごみを焼やしたときの熱エネルギーは隣接する「ゆびあす」に送られ、温水プールや浴場の熱源とするほか、施設の冷暖房や融雪などに有効利用されています。

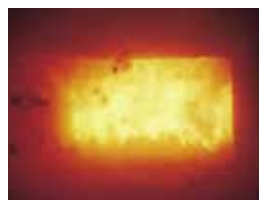
●ごみ集積場所から施設へ

集められたごみは、収集車から施設内のごみピットに投入されます。作業中も施設内の気圧を低く保つことで、臭気が外に漏れないようにしています。



●焼却炉へ

ごみを850度から950度で完全に燃焼させることにより、ダイオキシン類などの有害物質の発生を抑えています。



●運転状況の監視

焼却炉は24時間連続で運転し、焼却で発生した排ガス中の有害物質は薬剤やフィルターで取り除いています。炉の温度や排ガスの状況は常時監視しています。



●灰の処理

焼却した後は、焼却前の13倍ほどの重量の灰が残り、最終処分場に運ばれ埋め立てられます。

全国のごみ処理施設や取り組みを見てみよう

灰の発生が少ない処理方式を採用

さいたま市桜環境センター

溶融炉(約1800度で溶融)を設置しています。高温で溶融することで、ストーカ炉と比べて最終処分場に埋め立てる灰の量を抑制することができます。また、処理後に発生する物質(スラグ・メタル)は、建設資材などとして再利用されています。

施設には、大浴場などがある余熱体験施設と、使わなくなった生活用品などの持ち込み・持ち帰りができる3Rマーケットなどがある環境啓発施設が併設され、多くの市民に利用されています。



さいたま市桜環境センター



市民が気軽に利用する 3Rマーケット

さいたま市
桜環境センター
ホームページ



地域に開かれまちづくりにも貢献

武蔵野クリーンセンター

市クリーンセンターと同じストーカ炉を設置しています。発生した灰は、市外にある多摩地域25市1町が共同処理する施設に運んでセメントに加工することで、最終処分場への埋め立て量を少なくしています。

「開かれた施設づくり」をコンセプトに、3Rを体験するイベント「エコマルシェ」が開催されています。また、施設の屋上菜園で育てた野菜の試食、おもちゃや絵本の交換会、地産地消の飲食



屋上菜園で野菜を栽培



街並みに溶け込むデザイン

自由に見学できる見学者用通路

武蔵野クリーン
センター
ホームページ



にぎわうエコマルシェ。右側の建物が武蔵野クリーンセンターです

販売なども行われています。

見学者用の通路は、開館時間中であれば誰でも自由に見学することができ、楽しみながらごみ処理の仕組みを学習することができます。

外観は、「武蔵野の雑木林」をイメージした外壁と壁面の緑化により、街並みに溶け込む外観が評価され、2017年度グッドデザイン賞を受賞しています。

まだまだあります 特徴あるごみ処理施設



煙突が展望台
富山地区広域圏クリーンセンター

高さが100mある煙突には展望台があり、富山湾や立山連峰など360度のパノラマビューを楽しむことができます。



避難所機能を充実
金沢市クリーンセンター

災害時に地域住民の避難所として活用できるよう、発電や上下水道設備などを備えています。平時から避難所開設訓練などを行い、万が一の災害に備えています。ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2019グランプリ受賞。



バイオガス化を行っています
京都市南部クリーンセンター第二工場

生ごみなどの有機物を微生物の力でバイオガス化し、そのガスを燃料として発電しています。残ったごみだけを焼却するので、焼却処理量を減らすことができます。



特徴的なデザイン
大阪広域環境施設組合
舞洲工場

オーストリア・ウィーンの芸術家による外観のデザインは、建物が地域に根ざして、技術・エコロジー・芸術の融和のシンボルとなることを意図しています。

新施設整備に関する Q & A

Q 健康への影響は問題ないの?

A 新施設は最新の知見に基づく技術を導入し、国内で最高レベルの安全対策が講じられた施設を目指すとともに、関係住民の皆さまと協議しながら、国が定める基準よりも排出濃度を低く設定した厳しい基準を定め、その基準を遵守しながら施設の運転管理をしていきます。

なお、公害に関する争いの解決を目的に総務省が設置する「公害等調整委員会」では、全国でごみの焼却施設が公害や健康被害の直接の原因と認められた事例の報告はありません。

Q 施設整備に向けての手順はどうなるの?

A 整備予定地を決定した後、施設整備計画を策定して整備の方向性を具体化していきます。

併せて、周辺地域への環境影響を調査し、その結果を踏まえて影響の軽減対策などを検討します。

また、発生するエネルギーを活用し、地域振興・まちづくりに役立つ方法を検討します。これらの各段階で、地域の皆さまと話し合いを重ね、意見をお聴きしながら整備を進め、令和11年度の施設稼働を目指します。

Q 「ごみ処理広域化」によってごみ減量・資源化の取り組みはどうなるの?

A ごみ処理広域化は、「安全・安心な処理」や「効率的で環境に配慮した処理」とともに、「3Rの推進に基づく処理システムの確立」を目指す取り組みです。

今後も各市町が主体となって3Rの取り組みを進めるほか、8市町間でさまざまな情報を共有し、調査研究を共同で行うなど、緊密に連携しながら圏域における3Rの推進に取り組みます。

新しい ごみ処理施設を 目指して

施設の整備に向けて地域の皆さまと話し合いを重ね、廃棄物エネルギーの利活用を含めて、さまざまな検討を行いながら、皆さまに親しまってもらえる施設を目指します。ご意見やご感想をお寄せください。